

第 50 号

# 正福寺報

令和 2 年 春彼岸号

臨濟宗 円覚寺派  
住職 松原 行樹  
TEL 045-811-3800  
FAX 045-811-6304  
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

## 親からもらったもの

正福寺住職 松原 行樹 ぎょうじゅ

江戸時代に活躍した和尚様のお一人に、盤珪（ばんけい）禅師がい  
らっしゃいます。

あるとき、禅師は説法が終わって、  
「何か質問はありませんか？」  
と、聴衆に聞きました。

すると、一人の若い僧が、  
「私は短気です。故郷の両親も友人  
も注意してくれますが、これが生ま  
れつきで直りません。どうしたら直  
りますでしょうか」

すると、盤珪禅師は言います。

「面白いものが生まれついたのお。  
直して進んぜましょうほどに、今こ  
こにそれを出してご覧なさい」

若い僧侶は困った様子で、  
「いえ、今はございません。何かの

拍子にフイっと出まする」

と言うと、盤珪禅師は、

「それはお前様が自分でしでかし  
ておいて、それを生まれつきなどと  
親のせいにする大不幸者め！」  
と一喝しました。

さらに禅師は、親が産み付けてく  
れたのは仏心一つ。すべての迷いは、  
自分の都合で物事を考えることか  
ら起こるものだと言いました。

人は皆、赤ん坊のときは、物事を  
ありのままに観察する純粋無垢な  
心でした。しかし、今は怒ったり、  
比較したり、執着したり・・・、今  
の自分の心は果たして純粋といえ  
るでしょうか。

かけがえのない「仏心」を授けて  
くれた両親のご恩に報いるために  
も、両親が喜ぶような生き方をして  
いきたいものです。